

県民のあゆみ

5

No.639

山形県広報誌
令和6年5月号

県民のあゆみ

5
No.639

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>



インターネット通信
この冊子は、印刷用紙の
リサイクルできます。



- 2 特集 令和6年度当初予算について
- 8 奏であう人 郷土の文化を守り、未来へとつなげる
- 16 潜入レポート! 山形県流域下水道山形浄化センター

📷 今月の表紙

自転車ヘルメット着用推進モデル校になっている村山産業高校の生徒のお二人。自転車ヘルメットの着用率向上を図るため、県では、自転車を利用する機会が多い高校生を対象に、ヘルメットの購入補助やモデル校での普及啓発などに取り組んでいます。(撮影協力：村山産業高等学校)



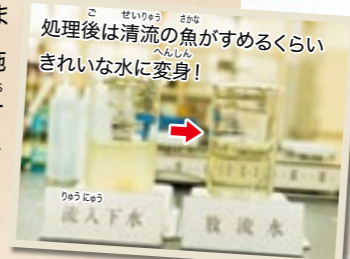
どうなってるの!?

やまがたけんりゅういき げ すいどうやまがたじょう か 山形県流域下水道山形浄化センター

私たちの暮らしに欠かせない 浄化センターってどんな施設なの?

家庭から出る汚れた水もきれいに!
清潔な暮らしや、川や海の環境を守っています。

台所・お風呂場・トイレなどから出る汚れた水は、そのまま水路や川に流すと、嫌なにおいや害虫が発生したり、病気の原因になったりします。また、川や海も汚れてしまいます。そのため、家庭や工場などの汚れた水を下水管で集め、きれいな水にする下水処理施設が全国で整備されています。現在、県内には34か所の下水処理施設があり、山形浄化センターは県内で一番大きな施設です。山形浄化センターでは、山形市をはじめ3市2町の家や工場などの汚れた水を集め、きれいな水にして川に放流しています。施設の主役は、人間の目には見えないほど小さな微生物たち。小学校のプールの何倍も大きな処理タンクの中で、たくさんの微生物が24時間休むことなく働き、水の汚れを分解しています。また、汚れた水をきれいにするときに発生する泥は、エネルギー源にもなります。施設では、泥を発酵させてバイオガスを作り、そのガスを利用して発電も行っています。施設で使う電力の約1/3を発電しています。



公益財団法人山形県建設技術センター 下水道事業所 参事
なま い やす お
生居 泰雄 さん
皆さんの快適な暮らしを守るため、微生物の力も借りて、汚れた水をきれいにしています。固い紙をトイレに流したり、台所で油を流したりすると、下水管が詰まったり、微生物が分解しきれなくなります。正しく使用し、みんなで環境を守りましょう!



水の汚れを分解する下水処理施設の主役
巨大な処理タンクの中には、十数種類の微生物が。その数なんと1立方センチメートルに約1万匹!タンクに空気を送ることで分解が活発になります。



センターに近づくほどに大きくなる!
地下に埋まっている下水管の直径は家庭付近のものが約20センチメートル。処理施設付近の下水管が一番大きく、2メートル以上!大人がすっぽり入る大きさです!



集めて楽しいマンホールカード!
県内には12種類のマンホールカードがあります。県流域下水道のカードは、最上川舟運を描いたカラーマンホールで、大石田町に設置されています。



みんなも潜入!夏休みの親子下水道教室では、工作教室や微生物の観察など楽しいことがいっぱい!施設見学はいつでもできます。

ここに広告を載せませんか?

県民のあゆみは発行部数約40万部、県内全戸配布。
アンケート調査では回答者の**41.6%**が情報収集に利用しています(※)
※令和5年度山形県広報効果に関するインターネットアンケート調査より

◎掲載料:1枠300,000円(税込)
中面のページ1枠 200,000円(税込)
◎問合せ:県広報聴推進課 ☎ 023-630-2087

県ホームページのバナー広告
も募集中!
◎掲載料:1枠50,000円/月

